

# サロンあべの

## 親父は、バイクで四国を巡る

〈サロン・あべの〉10月の出会い

平成21年10月17日(土)、育徳コ

ミュニティーセンター2階研修室  
において、〈サロン・あべの〉10月

の出会いには、4月29日から5月4

日の6日間、バイクで四国を巡つ

た親父遍路こと窪田新一さんのお  
話。

・なんで親父遍路に

古代から、都から遠く離れた四  
国は辺地(へじ・へぢ)と呼ばれ  
ていた。平安時代ころには修験者  
の修行の道であり、讃岐国に生れ  
た若き日の空海もその1人であつ  
たといわれている。空海の入定  
後、修行僧らが大師の足跡を辿つ

て遍歴の旅を始めた。これが四  
国遍路の原型とされる。時代が

たつにつれ、空海ゆかりの地に

加え、修験道の修行地や足摺岬  
のような補陀洛渡海の出発点と

なった地などが加わり、四国全

体を修行の場とみなすような修

行を、修行僧や修験者が実行し  
た。そしてこのころには僧侶だ

けでなく民衆が遍歴しはじめる  
ようになる。

折しも四国ブームで四国88カ

所巡りやお遍路さんのことがあ  
ちこちで取り上げられ、話題に

もなっていた。親父50歳そこそ

このときで、定年後に何かせな  
あかんと思っていたころである。

あれから10年、四国巡礼に関す  
る資料もいろいろ集めた。四国

から遍路道保存協会が発行してい  
る案内図を取り寄せたりもした。

・準備万端怠りだらけ

歩き遍路も考えたが体力的に不

安があつたので、若いころからの  
バイク好きが高じて、落ち着くと

ころに落ち着いた。まず、下見の  
ために遍路バスツアーに参加して

地図をチェックした。はてさて一  
体全体バイクで1日どのくらい走

れるのか、和歌山の勝浦まで45  
0kmを試走。感覚は掴めた。つき

は、四国を巡るのに何がいるか。  
雨具や衣類、寝袋、テント、パソ

コン、ターボライターなど、あれ  
やこれや必要と思われる荷物を準

備した。水やバナナも持っていこ

一九九一年九月三日第三種郵便物認可(毎日発行)



バイクを巡った四国にっしょいといふ親父

う。大阪で買った地図も持っていったが、その地図はほとんど使わなかった。旅のときはカメラも昔はどれを持っていくか迷ったが、今はデジタルカメラ1台あれば十分。

・霊山寺を前にいよいよの感

朝5時に家を出て、フェリーで徳島に向かい午後2時に徳島に到

着し、1番札所の霊山寺にお参りしたときは、いよいよだなと、身の引き締まる思いで白衣の襟を握りしめた。

白衣は巡礼者が着なければならぬとされる、白い着衣。四国88カ所の寺院や門前の店で購入すると「南無大師遍照金剛」と背中に書かれたものが一般的である。巡礼の途中でいつ行き倒れてもいように死装束としてとらえる説もある。あれば、巡礼といえども修行中なので清浄な着衣として白を身につける、どんな身分でも仏の前では平等なのでみな白衣を着るとする説もある。いずれにせよ、白衣を着けておれば四国では、誰が見てもお遍路に違いないので、すこく話が早い。親父遍路が野良仕事をしている人に道を尋ねたときも、わざわざ畦まででてきて道を教え

・「お接待」は文化

道中、お遍路さんに対して地元の人々から果物や金品、善根宿など、お接待または接待とよばれ、食べ物や飲み物、手ぬぐいやときには現金を渡す無償の提供がなされる伝統がある。これに対し、遍路は持っている納札を「お接待」してくれた人に渡すことになっていく。こうした文化のおかげで、昔は比較的貧しい人であってもお参りができたといわれる。

今回、現金の「お接待」は受けなかったが、宿の主人に洗濯の「お接待」を受けた。そして、4日目の夕食の時に地酒が振る舞われた。禁酒を誓ったお遍路なので、固辞はしたもの、「お接待」だから、のひと言で堰は切れた。

「お接待」の心は、接待することによって功德を積む、巡礼者も

また弘法大師のある種の化身であるといういい伝えからや、一種の代参のようなものとかさまざまである。

遍路は順番どおり打たなければならぬわけではなく、各人の居住地や都合により、移動手段や日程行程などさまざまである。1度の旅で88カ所のすべてを回ることを「通し打ち」、何回かに分けて巡ることを「区切り打ち」という。また、順番どおり回るのを「順打ち」、逆に回るのを「逆打ち」という。

遍路は札所に到着すると、本堂と大師堂に参り、およそ決められた手順（宗派によって多少異なる）に従い般若心経などの読経を行い、その証として納札を納める。境内にある納経所では、持参した納経帳に、札番印、宝印、寺号印の計3種の朱印と、寺の名前や本尊の名前、本尊を表す梵字などを墨書してもらえ。朱印は納

経帳以外にも掛け軸、白衣にも受領できる。

親父遍路は不覚にも、53番円明寺の朱印を忘れてきてしまった。引き返すわけにもいかず次回にということに。

納札は衛門三郎が自分が空海を探しているということを書き空海に知らせるために（空海が立ち寄ると思われる）寺にお札を打ちつけたのが始まりとされる。かつては木製や金属製の納札を山門や本堂の柱などに釘で打ちつけていた。現在では、お寺の建築物の損傷を避け、持ち運びの利便性を考え、紙製の納札を納札箱に入れることになっている。

また、接待をしてもらったら、その人にお札の気持ちも込めて納札を渡すのが決まりである。結願した回数によってお札の色を変えてもよい。1〜4回が白、5〜7回が緑、8〜24回が赤、25回以上で銀、50回以上で金、そして

100回以上で錦の札となる。ただし、白より錦の札がより良いとされるわけではない。100回以上回っても白の納札を使う人もいる。

とはいえ、親父遍路がもらった納札の中に1枚だけ錦の札があるが、燦然と輝きその差は歴然としている。何といっても、白より錦。

・悲願、念願成就に感激

案内書などによると、88カ所を通し打ちで巡礼した場合の全長は1200〜1400kmほど、

とある。そしてまた、自動車を利用すると、打戻りと呼ばれる来た道をそのまま戻るルートや遠回りのルートが多いので、徒歩より距離が増える傾向にある、

とも書かれている。一般的に、徒歩の場合は40日程度、観光バスや車を利用する場合は10日程度

を要する。

親父遍路は、途中で道後温泉にいったり、坊ちゃん列車が走っているところを見たり、芸市内にある野良時計を見たりして、四国8カ所以外にオマケも大いに楽しんで、6日で成就できたことにワクワクした。なお、この間のバイクの全走行距離は1540km。

88番札所結願寺から1番札所窪山寺に戻って、報告したときは、達成感と満足感がじんわり

と湧きあがってきて、ウルウルした。

現代の遍路はその目的や信仰に問わず、一般の人が多く訪れる巡礼です。これは他の巡礼ではその信仰者が中心であるのに比べて特別なものではないでしょうか。「お接待」に代表される四国の人々に根づく心情に頭が下がる思いがした（サロン・あべの）10月の出会いでした。

（参加者18名 山村貴司）



1番札所 窪山寺



88番札所 結願寺

## 病気を原因にすること

アルコール依存症などの依存症に苦しむ人たちの一つの救いは、それを「病気」とすることから来た。「病気だった」と思うことで、無限に自分を責めることから免れる。単に「意志が弱い」とか、「酒好きでだらしない」のなら、自分ひとりで自分自身と向かい合わなければいけないが、「病気」なら医療の手助けを得ることができる。そこから「回復」する道も示される。



ある依存症者の家族は「依存症は病気だ」と聞かされて、非常に腹立たしかったという。「あんなものが病気であるものか」と思ったそうだ。「病気」は、本人がなりたくてなるものではない。「病気」になる人は単に運が悪かったのである。したがって「病気」になった人は同情されてもいいはずだ。しかし、私の夫（あるいは妻）は私たちをさんざん苦しめてきた。「病人」が悪意で家族を苦しめるはずはないが、それを私の夫はしてきたというのである。

そんな家族をさらに驚かせるのは、そういう家族もまた「病気」になっていると現代の医療は告げていることである。夫（または妻）の長年の依存症によって家族もまた病人でしまった。家族は本人を責めることなく、自分

の「病気」からの回復に注意をそそぐように医療から指導される。

「病気」という考え方を依存症の理解と治療に使うことの長所は、なによりもそこである。誰も責められることがないということである。誰も悪くはなかった。あえていえば、運が悪かっただけである。憎むべきは「依存症」という病気であって、その病気にかかった人間ではないのである。

この考え方は日本だけではなく、海外でも広く受け入れられているようだ。依存症ですでに苦しんでいる人をさらに道徳的な説教で苦しめることなく、科学的な根拠に基づき、治療までの道筋を示すことができる。その点では、これは非常に理想的な解決方法であるに違いない。

しかし自助グループにずっと関心をもってきた私から見れば、この考え方にも問題がないわけではない。アルコール依存症の本人と家族は、日本でも海外でも最大規模の自助グループをつくってきた。その自助グループが「アルコール依存症は病気だ」と強調することで、自助グループは「病人」の集団になってしまう。自助グループは、単に「いっしょ

に健康を回復しましょう」という運動になっ  
てしまうのである。

「病人」たちの「健康回復運動」なら、医  
療の指導があっても当然だろう。「健康な人  
と「病んだ人」を結ぶ両端が閉じた直線上を、  
自助グループは歩むわけである。その閉じた  
直線は医療の守備範囲内に収まっていて、医  
者がそこで知らないことは何もない。医者た  
ちが、そんな前提で自助グループの集会で

「すべてを知っている者」として発言してい  
るのを聞いていると私には違和感が残る。本  
来の自助グループは医療の範囲で終わるはず  
がない。その活動は医療を突き抜けて、遙か  
に遠くまで届く直線であるはずなのである。

たとえば自助グループの社会的活動、多く  
の苦しむ人に手を差しのばす博愛的行動、人  
間がますます孤立化する社会で広く連帯を呼  
びかける運動、利害や利己的関心、家族の壁  
を超えた人と人とのつながりを紡ぐ実践  
などは、とても医療の範囲ではなく「病  
人」の集団が行いうるものではない。

**お知らせ**

**<サロン・あべの> 12月の出会い**

内 容…インド料理で昼食会  
-お好みのカレーをお好みの辛さで-  
会 費…2000円(予定)  
日 時…12月5日(土)午後1時~3時  
場 所…インド料理レストラン SURAJ  
大阪市住吉区長居東4-2-22  
TEL06-6609-3111  
申し込み締め切り…12月2日(水)  
申し込み・問い合わせ先…  
TEL06-6691-1028(富田慶子)

「病氣」を強調することなく、か  
といって誰かを道徳的に責めることなく、  
自助グループの力をもっと認めながらの  
アプローチはないのだろうか。いや、そ  
れがあったからこそ、今日の自助グルー  
プの発展はあった。「病人」の活動の枠  
に入りきらなかった自助グループの創始  
者の足跡を振り返ってみることは、そう  
いう意味でも大きな価値があるはずだと  
思う。(知)

「邦子、…ん歳の手習い」はお休みです。

絵がうたうー  
絵とうたうー  
**童謡♪絵はがき**

- ・春 ・海
  - ・夏 ・花Ⅰ
  - ・秋 ・花Ⅱ
  - ・冬Ⅰ ・子ども
  - ・冬Ⅱ ・雨
  - ・汽車 ・川
  - ・5月 ・母
  - ・お正月 ・虫
- もらった人も、思わず、  
歌いたくなる、うれしい、  
楽しい「絵はがき」

**童謡♪絵はがき**

■5枚1組 ¥180

中村かずみ

# 家族でアメリカ!

## ケンタッキー州滞在記

— 3 —

さあ学校です。

当時小5のコウジと小3のサキは主人の送り迎えで遠い小学校に。中1のカズキは中学校に、スクールバスで登校することになりました。

### ☆小学校での生活

小学校の始業は8時。降車ゾーンも混むので7時には家をでていました。私服にリュックサック。腕時計をしていきます。

教室ではまず、起立し国旗に向かって「忠誠の誓い」を唱え、国歌を斉唱していたそう

です。いかにもアメリカ合衆国ですね!

みんなよく話しかてくれて、サキは

「キュートー」「ラブリー」

と文房具のほめあいですぐに仲よくなりました。コウジは少し時間がかかり、食後のフットボールに誘われたと聞いた日にはホツとしたものです。

授業はモチロン意味不明! 時差ボケで居眠りもしたようですが…。日に2時間、英語の出来ない生徒5、6人を集めてESLクラスがありました。なんとそこに、留学して日本語の話せる先生がいたのはラッキーで、さぞ心強かったことでしょう! それでも2人は別々の組でしたが、廊下ですれ違った日にはうれしそうに教えてくれました。給食のメニューで盛り上がりたり、支え合う様子が微笑ましかったです。

でも実は6月生まれのコウジはアメリカ区分で6年、つまり中学校に通うはずだったのです! 途中で気づいたのですが改めて転校もかわいそうで、結局うやむやに。こんなことが起こるのも、そのまま出来るのもアメリカ力でした。

サロンの

# 一筆箋

一冊一〇〇枚綴 一五〇円

### ☆中学校での生活

中学校もやはり私服でリュック。送迎渋滞の対策か、1時間遅く9時に始まります。

毎朝バス停まで、リスの遊ぶ小道を10分ほどいっしょに歩きました。乗り物の大好きなカズキはニコニコと乗車、学校では先生が出迎えてくれる約束でした。

そしてESLや養護学級を中心に過ごし、実習など出来るようなことはだんだんとクラスの子といっしょにということ通学を開始し……2日目には逃走。といっても校内でした

<サロン・あべの>の活動資金調達にご協力ください。

が、以降常に誰か足の速い人が（笑）付きそ  
うことになりました。

その後も、床に転がった、泣いた、といち  
いち電話があり路線バスで駆けつけることが  
続きました。課題はぬり絵やアルファベット  
を書く無理なもので、かけられる声が英語  
でも日本語でも、たいして違わない……こと  
はなかったのでしょうか。

2週目になるとついに、日に何度も、  
リュックに着替えをすべてつめこんでは

「ヒコウキ、オオサカ、クウコウ」

と空を飛ぶジェスチャー付きで繰り返し始め  
ました。「帰りたい」と言えな  
い子が全身で訴えるのに胸が痛  
みましたが、今さら仕方があり  
ません。

「帰るのは3月です」

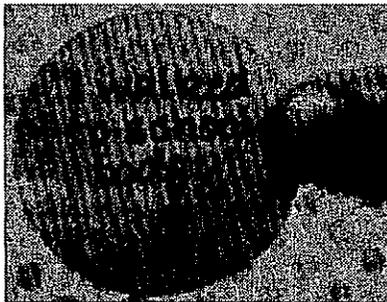
とその都度、帰国日に飛行機の  
絵を描いたカレンダーを見せる  
しかありませんでした。

3週目か4週目、訴えが2日  
に1度になったところ、船便が届  
きました。冬服が増え、リュッ  
クに詰め切れなくなつてやつと

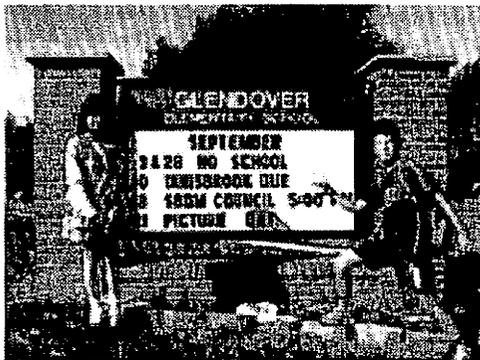
長期滞在を納得したのか「ヒコウキ」は言わ  
なくなりました。

コウジがいつしよにいたら、落ち着いて通  
えたのでしょうか？ でもコウジにも、やや  
こしい兄に気を配る余裕があったかどうか。  
この件で、つい我慢させがちだったカズキの  
気持ちも、私もより考えるようになり、カズ  
キも声を出して何か伝えて来ることが増えた  
気がします。結局それでよかつたのかもしれ  
ません。

——映画紹介



手前で車を降りて歩くと、もらえるシール。  
胸に貼って自慢します



小学校の校門でサキ、コウジ



養護学級の先生（左）と  
カズキ、お友達（右の2人）

「スーパーサイズ・ミー」(2004年90分)  
1日3食、1カ月マクドナルドだけ食べ続  
けたらこんなになる！ という恐ろしい実験  
ムービー。  
車社会ケンタッキー州は、全米有数の肥満  
地帯でもあります。  
横に揺れながら歩く、100kgを越える巨  
漢が先生にも何人もいて驚きました。生徒も  
ぼつちやり気味。「歩いて学校に来よう」月  
間はいい試みでしたが、そのご褒美にピザや  
ファストフードの無料券をくれたのでは先  
生、台なしです。

## 美智子のこんな話

岸田美智子

### 住吉区アクションプラン報告

前回の定例会で話し合われていた「小中学生向け大阪市地域福祉学習リーフレット等企画・作成公募」について話し合いました。

この定例会の前日が、公募締め切りだったので、申請書類が事務局の方でまとまっていた。内容的には、当事者の高齢者や障害者が実際に登場するDVDの作成と、当事者とともに何かを作り上げていく体験をしてもらうこと、きつかけ作りを提案することになりました。

プレゼンテーションに向けての内容案としては、企画名称案は、「私も地域の住民です。〜当事者が語る福祉のまち」です。

①アクションプランと「トイレ貸します」運

### 動の経過説明

②部会に参加している障害当事者からの街づくりに関する問題、困った点や車いすトイレがなくて困った体験を話してもらった。

③DVDを見た後、実際に障害者とともに料理をするとか、マップを作る、ということを通して、作り上げていく過程でもに行動していただける場を提供したい。

3つの内容で、プレゼンテーション当日は5人で発表することになりました。結果が楽しみです。

もし、採用されたら、あなたの学校にも私達がお邪魔するかも……。そのときはよろしくお願ひしまあ〜す！

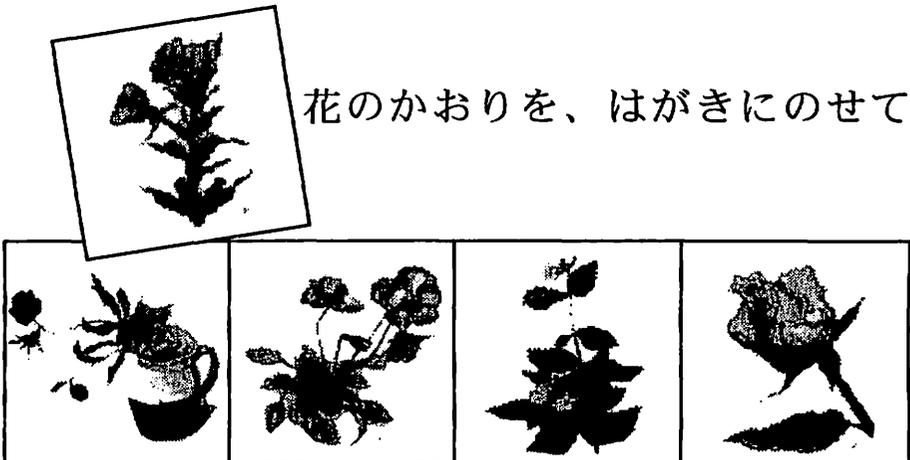
### ありがとうございました。

カンパ、切手・お茶・お茶菓子の寄贈、また、サロングッズのお買い上げなどありがとうございました。

カスターネット、伊東裕子、木村、黒田るり、桑田加代子、中西桂子、中西久雄、山本敏子、米村金治、その他の方々（敬称略）

\*8月のさろん亭にご寄贈くださいました山本敏子さまのお名前がもれていました。お詫びします。

花のかおりを、はがきにのせて



サロンの  
**絵はがき**

5枚1組 180円

え：石田美穂子



12月はどこのサロンの、  
どのテーマが  
お気に入りですか。  
いい出会いませんか。

■「サロン淀川」12月の出会い

日 時：12月20日（日）午後1時30分～4時

内 容：地域活動を楽しむ  
-地域活動は自分のためにある-  
(マジック・ゲームなど、手作りおもちゃの  
作り方を指導していただきます)

ゲ ス ト：山田富夫さん

「サロン淀川」は市民ホールおおさか09協働事業  
に参加しています。

会 費：なし

場 所：淀川区民センター「やすらぎ」  
大阪市淀川区三国本町2-14-3

問い合わせ先：淀川区社協（ボランティア・ビュー  
ロー） ☎ 06-6394-2900

E-mail : sorajii@iris.eonet.ne.jp

■「サロン・にしよど」12月の出会い

日 時：12月19日（土）1時30分～3時30分

内 容：クラリネット四重奏とビンゴゲームの  
クリスマス会  
-サロン・にしよど恒例のクリスマス会で  
今年1年を楽しく締めくくりましょう-

ゲ ス ト：モンブランの皆さん

場 所：西淀川在宅サービスセンター「ふくいく」  
大阪市西淀川区千舟2-7-7

会 費：なし

問い合わせ・申し込み先：  
中本 ☎ 090-9864-9678

■「サロン「アイ」12月の出会い

日 時：12月12日（土）午後1時30分～4時

内 容：恒例のクリスマス会  
-マジック、ハーモニカ演奏、ビンゴゲーム-  
ゲ ス ト：合田たかし氏、桑本義美氏

会 費：なし

場 所：生野区在宅サービスセンター  
「おかちやま」2階ボランティアルーム  
大阪市生野区勝山北3-13-20

問い合わせ先：生野区社協（ボランティア・ビュー  
ロー） ☎ 06-6712-3101

○お知らせ：サロン「アイ」だよりの音訳テープが  
出来ます。ご希望の方は、西浦まで。  
☎ 06-6757-8574

■「サロン・にし」12月の出会いはお休みです。

問い合わせ先：宮脇淳 ☎ 090-3949-6973

■《てくてく・すみよし》12月の出会い

日 時：12月5日（土）

午前11時～午後3時30分  
内 容：ボランティア拡大交流会  
場 所：住吉区民センター大ホール

問い合わせ先：  
山本篤江 ☎ 06-6692-8411  
携帯090-5168-5977

■「サロン・つるみ」12月の出会い

日 時：12月6日（日）午後1時30分～4時

内 容：出会いが一番！  
-おもしろい出合いを話し合しましょう-  
ゲ ス ト：脇坂博史さま  
(桃山学院大学ボランティア活動支援室)

場 所：鶴見区民センター3階  
大阪市鶴見区横堤5-3-15

会 費：なし

問い合わせ先：鶴見区社協（ボランティア・ビューロー）  
奥井 ☎ 06-6913-7070

■「サロンいたみ」12月の出会い

日 時：12月5日（土）午後2時～

内 容：クリスマスコンサート  
演 奏：グループ「ハーフセブン」  
場 所：伸幸苑 伊丹市寺元6-150

会 費：なし

問い合わせ先：安藤れい子 072-784-1718

晴れのち晴れ-134-

稲垣恵雄

■思いやり

昨年の6月から毎週水曜日、2時間にわたってヘルパーの近藤亜矢さん(以後、Kさんと記す)に私の入浴介助をお願いしている。

Kさんは毎日、摂津から車で50分もかけて永和のヘルプステーションに通っている。Kさんはまた30代の若さなのに何をしてもていねいでよく気がつくので、妻も私も大変喜んでいるのである。

例えば私の身体をきちんと時間をかけて洗ってくれるので、いつもさっぱりした気分で浴場から出てくることができる。そしてKさんは私の衣服を着せると、すぐに浴場を洗ってくれ、それが終わると忘れずに電気とガスを切ってくれる。他のヘルパーさんも電気は消してくれるのだが、ガスを切ってくれるのはKさんだけである。それだけに

Kさんのしてくれることが目につき、心うたれるのだ。

私はいつもお風呂から上がると、コップ1杯の冷えた牛乳を飲むことにしている。その時は服を着てから牛乳を入れてもらうのだが、先日、私は浴場から出てくると既にテーブルの上に牛乳が置いてあった。私は怪訝な顔をすると、Kさんは「今日は少し気温が低いのでおなかをこわしてはいけないと思って…」と言った。私が湯船につかっている間にKさんは、冷蔵庫から牛乳を出してテーブルの上に置いてくれたのである。

こうしたちょっとした気づかいが有難い。私はKさんのやさしさと心の温もりを感じながらゴクンと一口牛乳を飲んだ。



寄りみち



■童謡♪絵はがき・紅葉。この歌は「春の小川」や「ふるさと」などを作った高野辰之と岡野貞一のコンビによって明治44年に作られました。一幅の山水画を思わせる描写ですが、舞台になったのは、碓氷峠の信越本線熊ノ平駅近辺といわれています。碓氷峠は、利根川の支流碓氷川の渓谷から千曲川の支流湯川に出るまでの峠で、群馬県と長野県の境にあります。ところで、この歌を小学生のとき、輪唱形式の2部合唱バージョンで歌った記憶があります。先行組が「秋の夕日に…」と歌ったところで、後発組が歌い出すものですが、今、改めて聴くと、あたかも歌い声が山や渓谷に反響しているかのように聞こえます。(石)

<サロン・あべの>VOL.281 発行：平成21(2009)年11月21日 定価¥100  
 編集人：<サロン・あべの>運営委員会 表題：中西利香・筆 文中イラスト：石田美禰子  
 事務局：〒545-0021 大阪市阿倍野区阪南町6-3-26 富田慶子方<サロン・あべの>  
 TEL・FAX 06-6691-1028 郵便振替口座：サロン・あべの 00950-9-26941  
 印刷：セルフ社 〒546-0044 東住吉区北田辺町4-23-2 ミスターDビル2F TEL06-6719-8212  
 ホームページ：http://pweb.sophia.ac.jp/oka/salon/「サロン あべの」でも検索できます